

2018 年度水産海洋学会ナイトセッション結果報告

主催： 水産海洋学会活性化委員会

企画・協力： 富士泰期・中村政裕・林晃（企画） 三宅陽一・高木互（協力）

とき： 2018 年 11 月 16 日 18:00～21:00

ところ： 東京大学大気海洋研究所講堂（第 1 部）217 号室（第 2 部）

発表者： 15 人

参加人数： 39 人

概要

第一部では質疑応答の時間を設けず一人 7 分の持ち時間で連続して研究紹介を行った（ライトニングトーク、写真 1）。参加者はポストイットに質問やコメントを書き込み、続くディスカッション懇親会に備えた。第二部ではディスカッション懇親会と称し、ホワイトボードを活用しながら各自議論を深め、連携の可能性を探った（写真 2）。参加者の意見・疑問はポストイットにより発表者に還元され、議論のきっかけづくりに役立った。



よかったところ

第 1 部ではライトニングトーク形式でテンポよく研究紹介が行われたことにより、2 時間を通して集中することができた。物理・生物・生理・生態等多様な研究分野の研究者から発表があったため、研究者としての人脈は大きく広がったうえ、普段聞けない分野の発表が聞けたことが大変良い刺激となり、その後の第 2 部での議論が白熱した。参加者がこちらの提案したシステムに協力してくれたことにより、ポストイットは限られた時間でコメントを発表者に還元することにつながった。企画者の立場としては、会場となった東大大気海洋研に協力してくれる人がいたので非常にスムーズに進んだことも書き記しておきたい。

反省点

ディスカッションにもっと時間を配分すべきだった。改めて学際的な連携の難しさに気づいた。食べ物すすこし残ってしまった（議論が白熱した裏返し…）。もっと前のほうに座ってもらえるようアナウンスすべきだった。

